

令和2年度 教育課程特例校の取組について

＜外国語教育 恵那市立三郷小学校＞

恵那市教育委員会

令和2年度の小学校学習指導要領全面実施に伴い、小学校3・4年生で外国語活動が、5・6年生で外国語科がスタートした。目標は次のとおりである。

「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」(小学校学習指導要領(平成29年告示))

恵那市立三郷小学校では、教育課程特例校として、全学年で外国語活動に取り組んでいる。

1 これまでの取組

三郷小学校では、平成12年度から外国語教育に取り組み、低学年から外国語(英語)に慣れ親しんでいる。平成28・29年度は、岐阜県英語教育イノベーション戦略事業「第2期英語拠点校区事業」として、三郷小学校を含む恵那西中学校区の4校が連携し、「三郷メソッド」*1を活用した授業実践を積み重ねてきた。こうした取組により、小学校6年間を通じた系統的な外国語教育が展開され、中学校の英語学習へのスムーズな移行が図られてきた。また、平成30・31(令和元)年度は、「【オール東濃】小学校外国語アクションプラン」、令和2年度は「【オール東濃】小学校外国語科スタートプラン」の指定を受け、積み重ねた授業実践を東濃管内の小学校へ広めてきた。担任がT1として、ALTとの効果的な対話を取り入れながら展開する授業形態は、恵那市内小学校のモデルであり、市内小学校における外国語活動及び外国語科の指導力向上を図るための拠点校となっている。

「三郷メソッド」*1…6年間を見通した単元指導計画をもとにした、学級担任が主体となって行う外国語活動のスタイルを指す。単位時間ごとの役割を明確にした単元のパターン化により、英語科専門教師でなくても自信をもって授業ができる。

2 研究

研究主題は、「自分の伝えたいことを考えながら話す姿を生み出す外国語科・外国語活動の指導」である。児童が、相手や場面、状況等に応じて、臨機応変に考えながら表現できる児童を目指した。これまでの学習で学んできた表現を駆使して、伝えたいことを相手に伝えることができるよう、Half Time や Small Talk を活かし、さらにコミュニケーション能力を高める授業実践を行ってきた。

3 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

第1・2学年は、生活科の時間を35時間削減して外国語活動「三郷メソッド」を実施する。

(2) 三郷小学校の取組について

三郷小学校 HP より「外国語活動」

<http://www.ena-gif.ed.jp/misato-e/cat2/http%3Awww.ena-gif.ed.jp/misato-ecat2/>